

**製品名: K-カドヘリンウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12917**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	88kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CDH6
別名	CDH6; Cadherin-6; Kidney cadherin; K-cadherin
遺伝子 ID	1004.0
SwissProt ID	P55285
免疫原	K-カドヘリン由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 180-260

**背景**

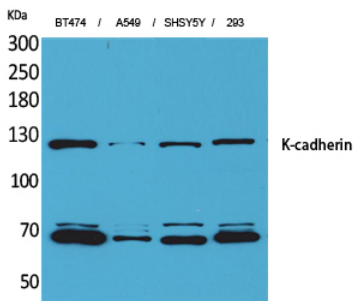
この遺伝子はカドヘリンスーパーファミリーのメンバーをコードしています。カドヘリンは膜糖タンパク質であり、同種親和性の細胞間接着を媒介し、細胞分化と形態形成において重要な役割を果たします。コードされているタンパク質は II 型カドヘリンであり、

腎臓の発達、子宮内膜および胎盤の形成に関与している可能性があります。この遺伝子の発現低下は、腫瘍の増殖および転移に関連する可能性があります。[RefSeq 提供、2011 年 5 月]機能: カドヘリンはカルシウム依存性細胞接着タンパク質です。細胞同士を接着する際に、カドヘリンは同種親和性に相互作用するため、異種細胞の選別に寄与している可能性があります。類似性: 5つのカドヘリンドメインを含みます。組織特異性: 脳、小脳、腎臓で高発現しています。肺、脾臓、胃粘膜では弱い発現を示します。また、特定の肝癌および腎癌でも発現しています。、

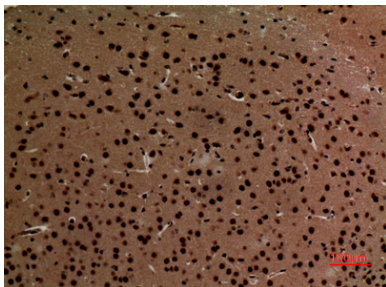
## 研究分野

-

## 画像データ



K-カドヘリンポリクローナル抗体を用いた BT474、A549、SHSY5Y、293 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された